

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【公開番号】特開2018-19793(P2018-19793A)

【公開日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-005

【出願番号】特願2016-151550(P2016-151550)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月29日(2019.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御することができる主制御手段からのコマンドに基づいて演出の進行を制御する演出制御手段を備える遊技機であって、

前記演出制御手段は、第1の基板と、第2の基板と、第3の基板と、  
を少なくとも含み、

前記第1の基板は遊技演出に関するデータを予め記憶したROMを備え、

前記第2の基板は第1のコネクタを通じて前記第1の基板に備えた前記ROMのデータを受信して映像信号を複数種類の方式で作成し、前記複数種類の方式の映像信号を第2のコネクタを通じて前記第3の基板へ出力し、

前記第3の基板は、前記複数種類の方式の前記映像信号の中から、表示装置に適合する映像信号の方式の信号を前記表示装置へ出力するものであり、

前記第2の基板と前記第3の基板を電気的に接続する前記第2のコネクタは、ハーネスを用いない基板間コネクタであり、かつ、基板の取付けの誤差を吸収することが可能なフローティング機構を備えた

ことを特徴とした遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

從来より、図柄、各種背景画像、文字、キャラクタなどの画像データが記憶されるROM、種々の画像を表示する表示装置を制御するCPU等が実装される演出制御基板等を備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2016-116667号公報(図2)

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、表示装置に入力される映像信号の方式には複数種類のものがある。このため、特許文献1に記載される遊技機においては、表示装置に入力される映像信号に合わせて演出制御基板を改変して製造する必要があり、演出制御基板のコストを抑制することが困難であった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、演出制御手段のコストを抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(解決手段1)

遊技の進行を制御することができる主制御手段からのコマンドに基づいて演出の進行を制御する演出制御手段を備える遊技機であって、前記演出制御手段は、第1の基板と、第2の基板と、第3の基板と、を少なくとも含み、前記第1の基板は遊技演出に関するデータを予め記憶したROMを備え、前記第2の基板は第1のコネクタを通じて前記第1の基板に備えた前記ROMのデータを受信して映像信号を複数種類の方式で作成し、前記複数種類の方式の映像信号を第2のコネクタを通じて前記第3の基板へ出力し、前記第3の基板は、前記複数種類の方式の前記映像信号の中から、表示装置に適合する映像信号の方式の信号を前記表示装置へ出力するものであり、前記第2の基板と前記第3の基板を電気的に接続する前記第2のコネクタは、ハーネスを用いない基板間コネクタであり、かつ、基板の取付けの誤差を吸収することができるフローティング機構を備えたことを特徴とした遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の遊技機においては、演出制御手段のコストを抑制することができる。